



地域医療
支援病院

災害拠点
病院

地域がん
診療連携
拠点病院

患者サポートセンター広報誌

九州労災病院

九州労災病院

Kyuro Hello! ハロー

理念 地域住民と勤労者の皆様に、良質で安全な医療を提供します。

- 基本方針**
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の医療を提供します。
 - 地域医療機関との連携を重視し、中核病院として高度専門医療を担います。
 - 働く人々の健康を守り、治療と仕事の両立を支援します。
 - 患者さんに寄り添う心と、高い技能を兼ね備えた医療人を育成します。
 - 経営基盤が安定し、働き甲斐のある病院づくりを目指します。

2020.May vol.82

「地域がん診療連携拠点病院」に新規指定されました

がん診療統括室長・副院長 福山 時彦



皆様には日頃より当院のがん診療に対しご支援いただきましてありがとうございます。

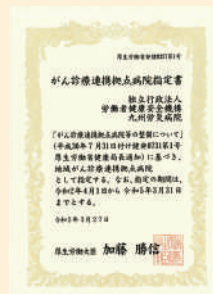
当院はこの度令和2年3月27日付で、長年の悲願でありました「地域がん診療連携拠点病院」に新規指定されましたのでご報告いたします。

平成26年6月にがん診療統括委員会を立ち上げ、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を目指して、人員の補充・施設の拡充など、がん診療の体制づくりに多職種が協力して努めてまいりました。平成28年4月に現・岩本幸英院長が赴任されてからは、申請へ向けての取り組みがさらに強化されました。具体的には、平成28年に整形外科に骨・

軟部腫瘍外科、平成29年には放射線治療科を新設しました。また平成29年1月にがん相談支援センターを開設し、令和元年には外来化学療法室の拡充を行いました。

申請に向けて当初はかなり高いハードルが多数ありましたが、各領域の指定要件を徐々にクリアして今回の指定へたどり着くことができました。これもひとえに地域の先生方のご支援の賜物と感謝いたします。

これからも引き続きがん診療機能の強化・充実を進めてまいりたいと存じますので、皆様のより一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。



地域医療連携室から患者サポートセンターへ

患者サポートセンター長・副院長 中島 信能



この度、地域医療連携室に代わる患者サポートセンターのセンター長を拝命しました中島信能です。高齢化の進展に伴う地域包括ケアシステムにおける当院の果たす役割を考慮し、機能分化と連携強化を進めるうえで、入院前から患者情報を収集し、入院中や退院後の生活を見据えた支援を行うPMF (Patient Flow Management) の構築が重要となってきました。そこで、当院では令和2年4月1日より、地域医療連携室から患者サポートセンターに名称変更し、機能強化を図ることといたしました。

患者サポートセンターは、入退院支援部門、社会福祉部門、地域連携部門、患者相談窓口からなり、一人一人の患者支援にあたっていきます。

長い間、地域医療連携室をご活用・ご支援いただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

がん診療統括室のご案内

がん診療統括室組織図



緩和ケアチーム



当院の緩和ケアチームは、平成25年4月に発足し、現在は医師3名（身体症状緩和：外科 八谷、リハ科：濱村、精神症状緩和：精神科 金澤）、進 緩和ケア認定看護師を中心とした看護師6名、長谷川がん薬物療法認定薬剤師、管理栄養士、臨床心理士、ソーシャルワーカーで構成され、毎週木曜日の午後、相談のあった患者さんに対してカンファレンスとラウンドを行っています。がん患者さんやご家族の身体や心のつらさを和らげ、その人らしく充実した日々が送れるように、主治医や担当看護師と一緒に生活の支援を行っています。

また、緩和ケア外来も毎週木曜日の午後に設けていますので、対象の患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。今後ともよろしくお願いいたします。

外来化学療法室



外来化学療法室は、昨年7月にベッド数を増床して以来、患者数が増加しております。昨年度は延べ年間2993件の実績となっております。化学療法治療においては安全管理が重要で、現在スタッフを常時4名配置してレジメンに応じた副作用管理と声かけしやすい環境を提供できるよう心掛けております。

また、治療と同時にベッドサイドで緩和ケア認定看護師が症状緩和に努めており、薬剤師や管理栄養士など多職種が連携しながら、化学療法治療を受けられる患者さんの生活の質を維持できるような支援体制の取り組みを目指しております。今後も患者さんご家族を多方面からサポートできるように、スタッフ全員で安全な外来治療と看護の提供を行って参ります。

がん相談支援センター

🍀 寄り添う相談支援を目指して

がん相談支援センターは、治療や検査・療養に関することやセカンドオピニオンに関する事等、患者さんやご家族の相談にがん看護専門看護師とMSWで対応しています。また、就労を継続される患者さんも増加しており、就労支援にも取り組んでいます。患者さんやご家族に寄り添うがん相談支援センターを目指しておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

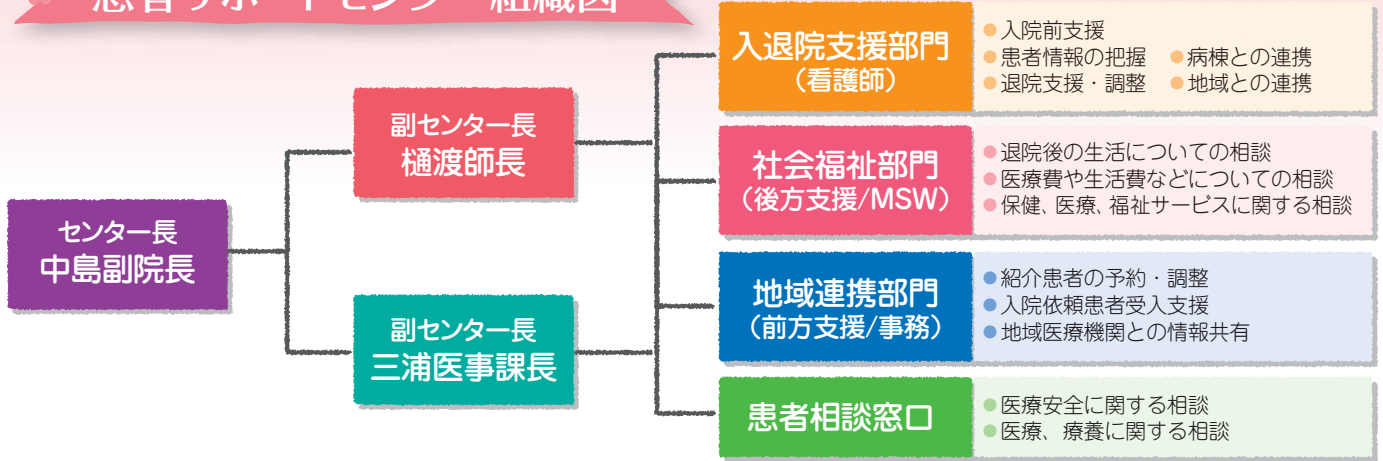


🍀 語りあいの場を提供

患者さんの集いの場として「ひだまりサロン」を開催しています。毎回テーマに沿って医療者から話題提供を行うとともに、患者さんやご家族の情報交換や語り合いの時間としています。予約は不要で、日程はホームページで公開しています。どなたでも参加頂けますので、お気軽にお立ち寄り下さい。

患者サポートセンターのご案内

患者サポートセンター組織図



入退院支援部門

令和2年4月に看護師4名を増員し、7名体制で新たにスタートしました。私達は患者さん・御家族の意向を大切に、その方がその方らしく入院前・入院生活・退院後の生活が安心して送れるようにサポートをしていきます。どうぞよろしくお願い致します。患者さんを中心に、地域の皆様とも繋がり頑張っていきます。



慢性疾患看護専門看護師
脳卒中リハビリテーション
看護認定看護師 安永です。
入院前からのご相談をお受けしています！



入退院支援部門
看護師長の樋渡です！
『全ては患者さんの為に』
がモットーです。

就労支援コーディネーター
医療メディエーターです。



がん看護専門看護師
岩崎です。患者さんに
寄り添う事を大切に頑張っ
ています。地域連携では
6年目になります。

「九州労災病院を選んで
本当に良かった！」
と思っ頂ける様に、私達は頑張っ参ります！



看護師 上原です。
入退院支援の仕事は
とても楽しいです。
労災病院は素敵な
病院ですね。



緩和ケア認定看護師
進です。何でもご相談に
のりたいます。
お待ちしております。



看護師 松石です。
ママになって初めての
職場復帰。両立しながら
貢献したいです！



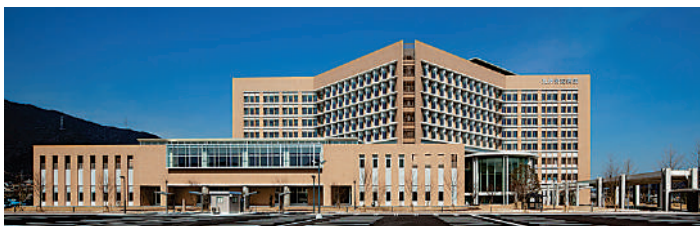
看護師 河本です。
訪問看護の経験を
活かして頑張っいきたい
と思っています。

令和2年4月1日より

地域医療連携室から 患者サポートセンター に生まれ変わりました!



よろしく
お願いいたします



九州労災病院

〒800-0296 北九州市小倉南区曾根北町1-1

TEL 093-471-1121 (代表)

ホームページ

<http://www.kyushuh.johas.go.jp>

診療案内

- 受付時間 午前8時15分～午前11時
- 救急受付 急患は24時間随時受け付けます
- 診療時間 午前8時45分～午後5時15分
- 休診日 土曜日・日曜日・祝日
年末年始(12月29日～1月3日)
- 初診時 5,500円
選定療養費 診療情報提供書のご持参をお願いしております

患者サポートセンター

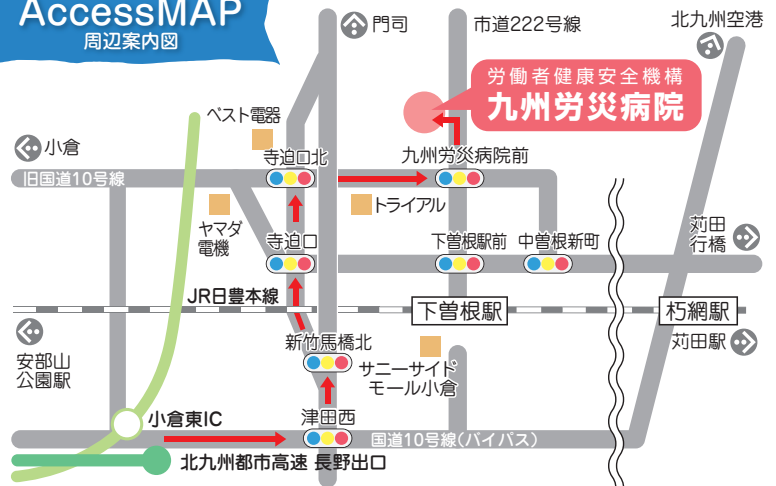
患者サポートセンターSTAFF

- センター長 副院長 中島 信能
- 副センター長 看護師長 樋渡 英子
医事課長 三浦 靖幸
- 入退院支援部門 看護師 岩崎 玲奈/安永 恵/進 恵理子
松石 理英子/上原 敦子/河本 純子
- 社会福祉部門 M S W 坂出 友美/西村 ますみ/竹中 芳美
- 地域連携部門 事務 二見 誠司/武久 亜紀子/服部 晴朗
黒田 早苗

お問い合わせ先

- 入退院支援部門 代表電話 093-471-1121
- 社会福祉部門
- 地域連携部門 直通電話 093-475-9686
- 共通 F A X 093-473-5903
E-mail renkei.renk-k@kyushuh.johas.go.jp

AccessMAP 周辺案内図



患者サポートセンターをご利用ください

- 電話・FAXによる紹介患者さんの受診予約・事前受付
- MRI・CT・胃カメラ等の検査予約
- 救急診療のご依頼
- 転院に関する相談・紹介・問い合わせ
- 診療に関する様々な問い合わせ
- 患者さんに関する情報や返事が滞っている場合
- 診療情報提供書の発送業務
- 開放型病床利用に関すること
- セカンドオピニオン外来に関すること

